

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岩手県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	盛岡市立乙部中学校 1～3年生徒 193名 保護者参加者3名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (パラリンピアンに学ぶ会・教育関係行事) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	ア 生徒たちがオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めるきっかけを作り、将来にわたって学べるようにする。 イ パラリンピアンとのふれあいを通して、生徒たちが自分自身の将来に希望や目標をもったり、それを実現するための計画を考えたりするきっかけを作る。 ウ 生徒たちが、今行っている諸活動への取組を見つめ直し、より明確に目的意識をもって取り組めるようにする。
5 取組内容	ア 事前学習 12月10日・11日 「パラリンピアンに学ぶ会」を開催する意義や、講師の根木慎志さんについて、事前に学ぶ機会（20分程度、教師からの説明とビデオ視聴）を学年ごとに設定し、当日に向けた動機付けをはかった。 イ 当日「パラリンピアンに学ぶ会」 12月12日(水) 5、6校時 本校体育館 講師 根木 慎志 氏（シドニーパラリンピック日本代表） 13:30 からの講師紹介に続けて、根木さんのペースにお任せして進めていただいた。これまでの経験とそこで感じた思いや願いをたっぷりと語っていただくとともに、ビデオ視聴や実技体験等を織り交ぜて講演していただいた。



	ウ 事後学習 12月13日 各学級において前日の会の振り返りを行った。(20分程度)担任の教師と生徒で会について話し合うことを通して内容や話されて心に残ったことを想起させ、アンケートを記入した。
6 主な成果	ア オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心の高まり 生徒の感想から 「根木さんの熱い思いを聞けて、オリンピック・パラリンピックに対する自分の思いがすごく変わった。」 「障がい者の方たちのいろいろないいところやがんばっている様子を話してくれて、パラリンピックもテレビで観戦したいです。」 「パラリンピックに出場する人たちは本当にすごいなと思ったしキラキラと輝いているように見えました。」 イ 障がい者やパラスポーツに対する興味・関心の高まり 「障がい者はかわいそうじゃないと思ったし、根木さんと会って努力が大事だと身をもって思いました。」 「スポーツ以外でも障がい者と世界の方が関わり合うことができる社会を作っていきたい。」 「障がいのある人も、周りの人が助ければ障がいがなくなるということに感動しました。」 ウ 講師とのふれあいからの、人としてのさまざまな学び ①夢や希望をもち、それに向かって努力する大切さ 「何事も暗く考えず、前向きに生きるのが大切。私も目標を立ててチャレンジしたい。」 「たくさんのことに挑戦しようと思ったし、勇気をもらいました。」 ②周りの人への思いやりや感謝の心 「人は生きていく中で感謝の気持ちが大事ということを改めて実感することができた。これからの生活では感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたい。」 「自分に関わっている人たちに感謝をしながら、スポーツをしたいと思います。」 「人間関係を大切にしたいと思います。」 ③生きること、がんばることに対する意欲 「『自分に残されたものを生かして生きよう』という言葉が印象に残りました。」 「何事も勇気をもって自分から進んでいくことを、これからの人生に生かしていきたい。」 「人なんて差別するもんじゃない!と思いました。人は皆同じ『人間』ということが改めてわかりました。」 「自分が本当にやりたいことを成し遂げるためには諦めないでやり続けることが大切ということ学びました。」
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・特にありません。

8主な課題等	• 本校の場合、12月の体育館での開催はやはり寒かった。健康面で心配という生徒はなかったが、どの生徒も学習に十分に集中できるよう、開催時期や会場についてはもっと配慮すべきであった。 • 車いすバスケットボールの体験的な活動をもっと行うことができればさらによかった。そのためには車いすの確保の問題がある。
9来年度以降の実施予定	• 本校では独自に7月にも平昌オリンピックに出場したスキージャンプ複合の永井秀昭選手をお迎えしての講演会を行っている。できれば来年度以降もオリンピック、パラリンピアンを学校にお迎えしたり、あるいは講師との交流を続けたりして、生徒たちが学ぶ機会を継続的に行っていきたいと考えております。